

バレー、バド団体・単で優勝

北三大会、金沢学院短大が好成績



バレーボールで優勝したメンバーの皆さん



バドミントン団体優勝の皆さん。前列左端はシングルス優勝の村上さん

第三十九回北陸三県私立短期大学体育大会は六月十日、十一日、富山市の富山県総合体育センターなど五会場で行われました。金沢学院短期大学チームは、ソフトテニス個人で十年ぶり十四回目の優勝を果たしたのをはじめ、バレーボールで二年ぶり二十七回目、バドミントン団体は二年連続十六回目、同シングルスは四年連続二十一回目の栄冠に輝きました。

主な成績と優勝者は次の皆さん。
バレーボール 優勝 (高田理香、小坂暉、麻田美穂、竹村美里、能登晶子、高澤奈々世、加藤夢子、西岡希、澤田瑞穂、長志織、濱野枝里子、坂下由以) 団体優勝 (村上夏樹、佐々木彩乃、北市あかり、細川早苗、北倉沙也香、大岸寿世、吉崎亜由美、鷲尾綾) 同シングルス優勝 村上夏樹 同ダブルス2位 ソフトテニス個人優勝 羽見慶子・鈴木小百合 弓道団体・個人各3位 バスケットボール3位 卓球個人ダブルス3位

借金財政の問題点など解説

上村北陸財務局長が特別講義



金沢学院大学経営情報学部の特講講義は六月六日、4号館講堂で行われ、北陸財務局の上村和美局長が「経済の現状と財政の問題」と題し、借金財政の問題点などを解説しました。上村局長は、日本経済の概観と最近の動向に続き、北陸の産業構造と最近の北陸経済の動向に触れ、個人

消費は全体として持ち直しの動きを見せる一方、生産活動は全体としては緩やかに増加している」と述べました。財政については、平成十八年度一般会計予算の概要説明の中で国家財政を家計にたとえ、月収四十万円の世帯で二十四万円が不足している計算になるとして、国債発行残高の増加、高齢化の進行による社会保障給付負担の増加などの問題点を説明しました。

岡島学長補佐に風工学会功績賞

金沢学院短期大学の岡島厚学長補佐・教授(金沢大学名誉教授)は五月三十一日、東京で行われた平成十七年度日本風工学会で、同学会最高賞である功績賞を受賞しました。写真下。

風工学、流体力学の分野で、円柱や矩形柱などの構造物が流れの中で振動する現象を、コンピュータによる数値シミュレーション、風洞、水槽実験により



18日オープンキャンパス 金沢学院大学、金沢学院短期大学の第一回オープンキャンパスは六月十八日、金沢市末町のキャンパスで行われます。学部・学科説明会のおとランチアワードは無料で学食を体験できます。午後は多彩なオープン授業が行われます。また、入試内容や学生生活について答える相談コーナーを開設。学内を見学できるキャンパスツアーもあります。詳しくはホームページへ。

発行・広報室



ジャワ島地震救済募金 金沢学院東高校の生徒会執行部の生徒は六月十二日から十六日まで、ジャワ島地震の被災者を救済する募金活動「写真左」を行いました。生徒の登校時間に正門前に立ち、大きな声で募金を呼びかけました。集まったお金は日本赤十字社石川支部を通じて寄付する予定になっています。